

ファイザー(PFE)

新型コロナワクチンの治験が進展。米当局とのワクチンの大量供給契約による業績の更なる上積みに期待。

ニューヨーク | 大手製薬会社 | 業績フォロー

BLOOMBERG PFE:US | REUTERS PFE.OQ

- 2020/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比11.0%減の118.01億USD、純利益が同32.1%減の34.26億USD。調整後純利益は同2.6%減益。
- コロナ禍による業績への影響は限定的であり、売上高を従来計画の485-505億USDから486-506億USD(19/12実績は517.50億USD)へ引き上げた。
- 米当局と最大6億本のワクチンの供給に合意し、初回1億本につきピオンテック社と共に総額19.5億USDの供給契約を結んだ。全世界に向けて年末までにワクチン1億本、2021年末までに13億本を供給する方針である。

What is the news?

7/28発表の2020/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比11.0%減の118.01億USD、純利益が同32.1%減の34.26億USD。売上高の83%を占める主力の医薬品事業部門が同3.8%増。ピンダケル(世界初のトランスサイレチン型心アミロイドーシス治療薬)、エリキュース(静脈血栓塞栓症治療薬)などの特許医薬品が同6%増収と伸びた。一方で、売上の17%を占める特許切れ薬品(アップジョン)事業部門が同32.5%減。神経性鎮痛薬のリカの独占販売権が19年6月末に終了したことなどが響いた。また、消費者向け部門が19年3Qより連結対象から切り離されたことも減収要因となった。懸念されたコロナ禍による減収の影響は4%(5億USD)程度にとどまった。損益面では、前年同期の税還付や今四半期の法人税引当金の計上など特殊要因を除いた調整後純利益が同2.6%減益(44.03億USD)だった。

How do we view this?

2020/12通期会社計画を上方修正。売上高を従来計画の485-505億USDから486-506億USD(19/12実績は517.50億USD)へ引き上げたほか、調整後EPSを同2.82-2.92USDから2.85-2.95USD(19/12実績は2.95USD)へ引き上げた。新型コロナウイルス流行による通院減少が緩和することを見込んでいる。新薬事業に集中するために進めていた特許切れ薬品部門の子会社への移管が20年4Qに完了する見通し。

独製薬ベンチャーのピオンテック社と共同開発中の新型コロナウイルスの予防ワクチンについてRNA(リボ核酸)ワクチン候補「BNT-162」に係る4種類の治験を進めているなか、米FDA(米食品医薬品局)は7月、先行する2種類を優先審査対象とした。また、同社は7月上旬、ワクチン候補の一つから、新型コロナウイルスから回復した患者で見られる水準を超える抗体、および重い副作用が伴わないことを確認したと発表。また、同社は7月22日、米当局と最大6億本のワクチンの供給に合意し、初回1億本ワクチンについてピオンテック社と共に、総額19.5億USD(1本あたり19.5USD)の供給契約を結んだ。同社は全世界に向けて年末までにワクチン1億本、2021年末までにはワクチン13億本の供給方針を示している。新型コロナワクチンが会社計画に織り込まれていないことを踏まえると同社業績に上振れ余地があると考えられ、株価の水準訂正も期待されよう。

業績推移

※参考レート 1USD=105.96円

事業年度	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12F	2021/12F
売上高(百万USD)	52,546	53,647	51,750	49,087	51,902
当期利益(百万USD)	21,308	11,153	16,273	12,812	13,598
EPS(USD)	3.52	1.87	2.87	2.35	2.54
PER(倍)	10.91	20.53	13.38	16.34	15.11
BPS(USD)	11.92	11.09	11.41	12.80	13.28
PBR(倍)	3.22	3.46	3.36	3.00	2.89
配当(USD)	1.30	1.38	1.46	1.51	1.57
配当利回り(%)	3.39	3.59	3.80	3.93	4.09

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(USD)	1.51	(予想はBloomberg)
終値(USD)	38.39	2020/8/10

会社概要

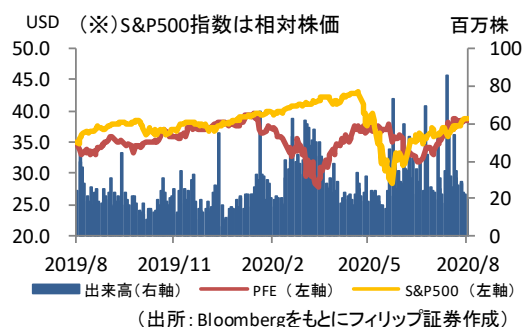
1849年創業の世界有数の製薬会社。研究開発に強みを持ち処方医薬品、一般用医薬品、動物用医薬品やワクチンなどの研究・開発及び製造販売を手掛ける。ファイザーは「医薬品事業部門」と「特許切れ薬品(アップジョン)事業部門」の2つの事業部門で構成されている。

「医薬品事業部門」の傘下に「インターナルメディスン部門」「オンコロジー部門」「炎症・免疫部門」「希少疾病部門」「ワクチン部門」「病院部門」を配置し、革新的な新薬とワクチン、バイオシミラー製剤を担当している。

また「特許切れ薬品(アップジョン)事業部門」は、主に循環器疾患、疼痛、精神疾患領域において、NCD(Non-Communicable Diseases、非感染性疾患)治療を行っている。

企業データ(2020/8/11)

ベータ値	0.78
時価総額(百万USD)	213,329
企業価値=EV(百万USD)	265,805
3か月平均売買代金(百万USD)	1,125.5



主要株主(2020/8)

1.VANGUARD GROUP	8.31
2.ブラックロック	7.63
3.ステート・ストリート	5.27

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

李一承

icheng.lee@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

笹木和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980



フィリップ証券株式会社
Member of PhillipCapital Group

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第127号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

【留意事項】

- 上場有価証券等のお取引の手数料は、国内株式の場合は約定代金に対して上限 1.265%(消費税込)(ただし、最低手数料 2,200 円(消費税込)、外国取引の場合は円換算後の現地約定代金(円換算後の現地約定代金とは、現地における約定代金を当社が定める適用為替レートにより円に換算した金額をいいます。)の最大 1.10%(消費税込)(ただし、対面販売の場合、3,300 円に満たない場合は 3,300 円、コールセンターの場合、1,980 円に満たない場合は 1,980 円)となります。
- 上場有価証券等は、株式相場、金利水準等の変動による市場リスク、発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合の信用リスク、外国証券である場合には為替変動リスク等により損失が生じるおそれがあります。また新株予約権等が付された金融商品については、これらの権利を行使できる期間の制限等があります。
- 国内金融商品取引所もしくは店頭市場への上場が行われず、また国内において公募、売出しが行われていない外国 株式等については、我が国の金融商品取引法に基づいた発行者による企業内容の開示は行われていません。
- 金融商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、お取引に際しては、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書又はお客様向け資料をよくお読みください。

【免責事項】

- この資料は、フィリップ証券株式会社(以下、「フィリップ証券」といいます。)が作成したものです。
- 実際の投資にあたっては、お客様ご自身の責任と判断においてお願いいたします。
- この資料に記載する情報は、フィリップ証券の内部で作成したか、フィリップ証券が正確且つ信頼しうると判断した情報源から入手しておりますが、その正確性又は完全性を保証したものではありません。当該情報は作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。この資料に記載する内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- この資料を入手された方は、フィリップ証券の事前の同意なく、全体または一部を複製したり、他に配布したりしないようお願いいたします。